

〈解答〉

- ① 1 (1) ①：ヒンドゥー ②：ウ
(2) 〔例〕時差が約12時間あるから。
(3) A：イ B：ウ C：ア (完答)
(4) フィヨルド
- 2 (1) イ
(2) ①：インカ ②：ア (両解)
(3) 焼畑農業
(4) ①：二酸化炭素 ②：温暖化

配点 各1点 10点満点

〈解説〉

- ① 1 (1) インドでは、人口の80%以上の人々がヒンドゥー教を信仰している。ヒンドゥー教では、牛は神の使いとされ、ヒンドゥー教徒は牛肉を食べない。また、水で身体を清める沐浴の儀式が重視され、ガンジス川には沐浴するための聖地がある。アジア州を細かく区分する場合、東アジア、東南アジア、南アジア、西アジア、中央アジアなどの地域に分けられ、インドは南アジアに属する。
- (2) インドとアメリカ合衆国は、両国の位置関係からほぼ昼夜が逆転することになるため、アメリカ合衆国の企業が仕事を終えるころに、インドにある企業が仕事を開始することになり、24時間対応することが可能になる。
- (3) A地中海沿岸に位置する地域の住居の多くは、壁が石でつくられ、窓は小さく、外側に木でつくられた扉がついている。石造りの家の中はすずしく、暑い夏でも快適に過ごせる。B広大な草原が広がるモンゴルでは、草や水を求めて家畜とともに移動する遊牧が行われてきた。遊牧民の住居は、木の骨組みに羊の毛のフェルトを張って組み立てるため、組み立ても解体も短時間でできる。C熱帯の地域の住居の多くは、柱や壁に木材を使い、屋根は草などを重ねてつくられる。床は地面から離れた高床になっていて、住居の中に熱や湿気がこもらないように工夫されている。
- (4) フィヨルドとは、氷河が長い時間をかけて大地を削ることによってつくられたU字型の谷に、海面の上昇によって海水が入り込んでできた、細長く奥行きのある湾である。スカンディナ비아半島やグリーンランドなど、高緯度の地域に多く見られる。
- 2 (1) イ西部の高く険しい山脈はアンデス山脈で、大河はアマゾン川である。アはアフリカ大陸、ウはオーストラリア大陸、エは北アメリカ大陸である。
- (2) もともと南アメリカには、アンデス山脈のインカ帝国に代表されるように、先住民がつくった高度な文明が栄えていた。しかし、16世紀になると、スペインやポルトガルなどの人々が進出し、先住民の文明を滅ぼして植民地をつくった。植

民地時代には大きな農場や鉱山で、先住民やアフリカから連れてこられた奴隷が厳しい環境で働かされた。先住民と白人の間には子どもが生まれ、メスチソ〔メスチーソ〕と呼ばれる混血の住民も増えた。

- (3) 焼畑農業は、森林や草原を焼き払い、その灰を肥料として作物を栽培する農業である。数年たつと土地がやせて、作物が育たなくなるため、別の場所に移動して、これを繰り返す。
- (4) バイオエタノール〔バイオ燃料〕は、植物原料からつくられるアルコール燃料のことである。植物は生長過程で二酸化炭素を吸収しており、燃やしても大気中の二酸化炭素の総量は増えないと考えられ、地球温暖化の対策になる燃料と期待されている。一方で、燃料用のさとうきびやとうもろこしなどの作物の生産を増やすために、森林の伐採が進めば環境問題につながる。また、食料用の作物の栽培面積が減少すれば、農産物の生産が減ったり、食料の価格が上がるなどして、十分な食料を得られなくなる人が増える可能性もある。